

令和6年度

事業報告書及び決算報告書

社会福祉法人出雲市社会福祉協議会

基本目標

地域住民と地域のあらゆる団体・組織の主体的な参画と
協働により、誰もが安心していきいき暮らせるまちづくり

基本理念

○一人ひとりが尊重されるまちづくり（人権擁護）

すべての人が人として尊重され、一人ひとりがその人らしい幸せを求め、
自立した生活を送ることができるまちづくりを推進します。

○地域住民が主役になるまちづくり（住民主体）

住民一人ひとりが主体となり、地域の福祉力を高め、地域住民でさえあ
うまちづくりを推進します。

○地域のすべてが関わりあうまちづくり（ネットワーク）

住民、ボランティア、福祉施設などの事業所や地域のあらゆる団体・組織
が相互理解を深め、お互いが手と手をつなぎ、誰もが共に生きるまちづく
りを推進します。

キャッチフレーズ

つながる ひろがる ささえあう

このキャッチフレーズは、社会の変化がもたらす孤立、分断、排除を
認識し、人権と社会正義の原則に則り、住民一人ひとりが社会の一員と
して共に生きる社会の創造を目指すことを表します。

- つながる 人と人、人と社会とのつながりをつくり、強くする
- ひろがる 多様で数多くのつながりや思いを社会にみだす
- ささえあう 一人ひとりがお互いに尊重し、支えとなる

○ 「地域共生社会の実現」に向けた動き

国においては「地域共生社会の実現」を福祉施策の基軸に置いて取組を進めています。社会福祉法の改正により創設された「重層的支援体制整備事業」は、「包括的な相談支援」「参加支援」「地域づくり支援」を一体的に実施し、困りごとの解決を目指すだけでなく、社会とのつながりを取り戻すことも重視し、属性や年齢を問わずに相談を受け止め、関係機関との協働を進めることで本人や世帯に寄り添った支援をめざしています。このような地域共生社会の考え方や、その実現に向けた事業・活動の方向性は、本会が取り組んできた方向に沿うものです。

○ 社会福祉協議会基本要項の改定

全国社会福祉協議会では市町村社協法制化40周年を契機として、社会福祉協議会基本要項を33年ぶりに改定しました。社会福祉協議会の使命を「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体として、住民主体の理念に基づき、住民や地域の関係者との協働により「ともに生きる豊かな社会」を創造すること」とし、活動原則については、従来の「住民ニーズ基本の原則」などに加え、新たに「地域共生社会の実現」に向けた方向性に合わせ「個別支援と地域づくりの一体的展開の原則」を追加しました。

○ 中期経営計画に基づく法人経営

本会では、「第4期中期経営計画」（令和5年度～令和9年度）で掲げた「住民に必要とされ、信頼される出雲市社会福祉協議会」の実現を目指して、「総合相談・生活支援体制の強化」と「小地域における住民主体による福祉活動の推進と支援」について取組を進めています。その中でも特に個別支援事業のさらなる強化が地域共生社会の実現に向けての最重要項目として捉え、次の4点に関係する事業や取組を中心に進めました。

- ① 地域包括ケアの推進
- ② 生活困窮等の世帯に対する支援
- ③ 権利擁護を必要とする人への支援
- ④ 生活支援体制整備

また、地域支援においては、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、社会福祉法人等の福祉事業者、福祉活動団体やボランティア、企業等さまざまな主体とともに、参加と交流の場を広げ、人と人がつながり、支えあう地域づくりに取り組みました。

個別支援と地域支援、人材育成の取組は一体となって進めることが必要であり、組織内の連携を進めるとともに、多機関との連携と協働を図り、多様で複雑な支援ニーズにも対応する支援体制づくりに取り組みました。

○ 財務改革の推進

財務運営にあたっては、安定的な財源の確保に努めるとともに、限られた財源で効率的・効果的な事業実施に取り組みました。

平成30年12月に定めた「財務改革の推進方針」に基づいて進めた取組により、経常収支は平成29年度までの赤字を克服し、令和2年度から継続する黒字を令和6年度においても達成することができました。

○ 経営管理体制と組織運営の強化

法人経営にあたっては、会長、専務理事、常務理事が常勤する体制とし、理事会、正副会長会の適宜開催、評議員会の適正な運営、監事による厳正な監査の実施など経営管理体制の強化に取り組みました。

毎月1回の経営会議を開催し、組織運営の強化に努めてきました。

事務局組織や職員配置は、限られた職員で最大の成果をあげることができるよう、適材適所の職員配置に努めました。また、フードドライブ事業など組織間の横断が必要な事業については、職員によるプロジェクトチームを編成し柔軟に対応しました。

本会の役割や存在意義が幅広い年代の地域住民に伝わり、理解されるよう、SNSを活用するなど広報活動を工夫しました。

○ 令和6年能登半島地震への対応

全国社会福祉協議会等の調整により令和6年3月から社会福祉協議会のネットワークを通じて能登町社会福祉協議会に職員を派遣し、現地の災害ボランティアセンターの運営支援にあたりました。

個別支援（安心づくり）

生活困窮者等に対する支援		
1	出雲市生活困窮者自立支援事業	生活支援課
2	生活物品支援事業	
3	生活福祉資金貸付事業	
4	民生融金貸付事業	
高齢者に対する包括的な支援		
1	包括的支援事業	高齢者あんしん 支援センター
2	一般介護予防事業の一部	
3	第1号介護予防支援業務・指定介護予防支援業務	
4	地域ケア会議に関する業務	
5	その他	
権利擁護を必要とする人に対する支援		
1	日常生活自立支援事業	いずも権利擁護 センター
2	財産保全サービス事業	
3	法人後見事業	
4	市民後見推進事業	
5	障がい者入居債務保証事業	
6	関係機関との連携強化	
総合的な相談支援		
1	出雲市福祉総合相談支援事業	総務課
物価高騰等の影響を受けた人に対する支援		
1	フードドライブ等実施事業	総務課

地域支援（地域づくり）

地域住民の主体的な福祉活動の推進		
1	地区社会福祉協議会等活動総合支援事業	地域福祉課
2	地区社会福祉協議会連絡会の開催	
3	ふれあいサロン活動助成事業	
4	子ども食堂活動支援事業	
5	地域ふれあい見守りネットワーク事業	
6	福祉団体活動助成事業	
地域住民等の参加と協働による福祉のまちづくりの推進		
1	認知症高齢者等ＳＯＳメール安心ネットワーク事業	地域福祉課
2	出雲市生活支援体制整備事業	
3	住民参加型在宅福祉サービス事業	
4	共同募金歳末助け合い事業	

福祉サービスの提供	
1 車いす貸出事業	地域福祉課
2 ガイドヘルプ事業	
社会福祉法人等との連携・協働及び支援等	
1 社会福祉法人による地域貢献活動推進事業	総務課
2 NPO法人との連携・協働	地域福祉課
3 団体支援等	生活支援課

人材育成（人づくり）

ボランティア活動の促進	
1 ボランティアまちづくりセンターの運営	地域福祉課
2 技術ボランティアの養成	
3 ボランティア活動に参加する人の拡大	
福祉教育の推進	
1 福祉教育推進事業	地域福祉課
災害時のボランティア活動の支援	
1 災害ボランティアセンターの設置運営	地域福祉課

法人運営

信頼にこたえる法人運営	
1 法人運営事業	総務課
広報啓発活動の推進	
1 出雲市総合社会福祉大会の開催等	総務課
2 「社協だよりいずも」の発行	地域福祉課
3 音訳広報・点訳広報発行事業	
4 ホームページの運営管理	
5 出雲市民余芸大会の開催	
中期的な計画の推進	
1 地域福祉活動計画推進事業	総務課
災害見舞への取組	
1 災害見舞金事業	総務課
会館管理	
1 会館管理事業	総務課
職員派遣	
1 災害ボランティアセンターへの派遣	総務課

個 別 支 援（安心づくり）

地域において福祉サービスを必要とする人や世帯を把握し、相談に応じるとともに課題解決を図るための支援をしました。また、課題解決のために福祉サービスを提供しました。

生活困窮者等に対する支援（生活支援課）

生活困窮者自立支援制度に基づき、生活保護に至る前の段階での自立を図るため生活困窮者に対して包括的な支援をしました。また、生活困窮者の自立と尊厳の確保を目指すとともに、包括的な自立支援にむけて関係機関と連携し、共に支え合う地域づくりを推進しました。

1. 出雲市生活困窮者自立相談支援事業

（1）自立相談支援事業

経済的困窮や社会的孤立など様々な課題を抱える人からの相談に応じ、関係機関等と連携を図りながら、一人ひとりの状況に合わせて、包括的、継続的に支援をしました。

① 相談受付件数：318件（うち新規申込件数：172件）

【新規申込件数の内訳】

・居住地域別人数

出雲	平田	佐田	多伎	湖陵	大社	斐川	不定	市外	その他	合計
102	25	4	2	4	5	25	2	3	0	172

・性別人数：男性101人、女性70人、不明1人（合計172人）

・年代別人数

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	合計
2	17	24	35	44	20	26	4	172

・同居家族の有無

あり	なし	不明	合計
92	63	17	172

・住居の状況

持家	借家	賃貸アパート、マンション	公営住宅	会社の寮、借上住宅	野宿	その他	不明	合計
51	13	53	18	7	3	6	21	172

・主訴（重複あり）

主訴	件数	主訴	件数
病気・健康・障がい	35	地域との関係	2
住まい	29	家族関係・人間関係	14
収入・生活費	106	子育て	4

家賃・ローン	42	介護	5
税金・公共料金支払い	25	引きこもり・不登校	6
債務	23	DV・虐待	2
仕事探し、就職	41	食べるものがない	16
仕事上の不安やトラブル	6	その他	21

②プランの策定状況

支援調整会議を開催し、支援対象者の自立支援が円滑に図れるようなプランであるか、関係者の意見を聞き、支援の方針を確認し決定しました。

- ・支援決定・確認件数：１５件（初回プラン１４件、再プラン１件）
- ・評価実施件数：１１件（終結１０件、中断１件）

③支援の状況

電話相談・連絡	3,773
訪問	326
同行支援	168
面談	1,095
所内会議	84
支援会議	64
その他他機関との会議（支援調整会議以外）	35
他機関との電話照会・協議	1,403
その他	1,263

- ・相談支援後の就労者及び収入増収者数（就労者１５人、増収者３人）
- ・住居確保給付金の利用

初回	延長	再延長	合計
2	1	1	4

- ・生活保護受給者等就労自立促進事業の利用におけるハローワークとの連携（１件）

④広報・啓発

- ・就労準備支援事業研修会（ひきこもり研修会）

開催日 令和６年１１月２６日（火）

会場 大社文化プレイス うらら館 ごえんホール
（出雲市大社町杵築南1338-9）

内容 (1) 講演 「ひきこもりの理解と望ましい接し方」
(2) 支援団体の取組み紹介（３団体４事業）

講師 (1) 講演

- ① 島根県立心と体の相談センター 所長 岡崎 四方氏
- ② 島根県出雲保健所 所長 村下 伯氏

(2) 支援団体取組み紹介

① 出雲市子ども若者支援センター 所長 小村 信弘氏

② 島根県地域若者サポートセンター相談支援員 細木 由紀久氏

③ 出雲市社会福祉協議会(福祉総合相談支援事業)

総務課課長補佐 菖蒲 悠司

④ 出雲市社会福祉協議会(就労準備支援事業)

生活支援課課長補佐 春日 智徳

参加者 72人

⑤研修・会議

・就労準備支援事業・家計改善支援事業合同研修

開催日 令和6年12月5日(木)

会場 コネクトほーむ

内容 ワークショップ(参加体験型講座)

自立した生活に向け、安価な材料を使った健康的でおいしい食事作りを体験しました。また、参加者で食卓を囲み、交流する機会を提供しました。

参加者 4人

・職員の資質向上のために、外部研修に参加(参加回数34回)

・職員の資質向上のために、内部研修を開催(開催回数2回)

・関係機関との連携に関わる会議に参加(参加回数11回)

(2) 就労準備支援事業

様々な問題を抱え、直ちに就労を目指すことが難しい生活困窮者並びに生活保護受給者に対して、生活習慣の改善やコミュニケーション能力の向上、基礎能力の形成が図れるよう個々の状態に合わせた支援を行いました。また、利用者の希望に沿った就労体験ができるよう、登録している就労準備支援事業協力事業所へ登録継続を働きかけました。

① 支援状況

事業利用者8人(うち新規利用4人(うち1人は生活保護受給者))

・社会生活への復帰に向けた支援 6人

社会との関わりが少ない相談者に対して、定期連絡による状況確認と行事参加、就労などの情報提供を実施し、継続的な支援を行いました。併せて、関係機関などへの連絡や情報共有により、本人の状態確認をしました。

また、精神的、身体的な不調により社会生活への復帰ができない相談者に対しては定期面談を実施して復帰する意欲を高めるように努めました。

・協力事業所での就労体験 2人

企業などでの継続的な就労体験の場をマッチングし、社会人としてのマナー

など必要な技術や知識の習得を支援しました。

- ・就労訓練への移行 1人

社協内及び協力事業所での就労体験を通して働くことへの自信を醸成し、継続就労や就労訓練への移行を支援しました。

- ・事業を利用し就労 2人（うち一般就労2人）

就職活動に向けた履歴書の作成支援、模擬面接等就職に役立つ技術習得支援を行いました。また、就職後定着のフォローを行いました。

- ② 協力事業所に対する事業主旨の理解浸透と継続登録

- ・就労準備支援事業協力事業所 30件

- ・相談者の職場見学、協力依頼

- ・ひきこもりや長期離職者の就労に対する理解促進

（3）家計改善支援事業

家計収支のバランスが取れていないなど、家計に課題を抱える相談者世帯に対して、家計の現状把握や家計改善の意欲を高めることを支援するため、家計表やキャッシュフロー表を活用し、本人を含む世帯全体の家計収支等に関する課題の整理、評価・分析を行いました。また、相談者が自分の力で家計管理ができるように支援しました。

- ① 利用者への支援

- ・事業利用者 5人（うち新規利用4人、終結1人）

- ・家計改善によるプラン終結 0人

- ② 支援内容

- ・世帯の家計が見える化する（相談時家計表の作成）支援：1件

相談者自らが「いくら足りないか」に気づくための支援を行いました。

- ・月単位及び数年先の家計の推移を見通し、家計計画を検討する（家計計画表・キャッシュフロー表の作成）支援：12件

家計改善支援員とのやりとりの中で、将来の収支変動にも対応できるように「何を増やし、何を減らすか」を相談者自身が考え、見通しを立てる支援を行いました。

- ・月1回程度の継続面談を行い、収支を振返る支援：30件

家計改善意欲を高め、家計管理に継続して取り組みました。

- ・滞納（家賃、税金、公共料金等）の解消に向け、契約の見直しや各種制度の利用等についてアドバイスを行い、必要であれば各機関に同行する支援：8件

- ・債務整理に関する支援（多重債務者相談窓口との連携等）：1件

支払いに追われる生活から脱却し、生活が安定することで世帯としての家計基盤を整えるための支援を行いました。

- ・事業利用者以外の支援：60件

2. 生活物品支援事業

市民や企業のみなさまから寄贈を受けた食品等を緊急一時的に必要な方へ提供しました。また、生活物品を貸出・提供し、生活の維持や再建に向けて支援を行いました。

① 食品等寄贈

- ・個人 131件
- ・団体 124件

※市内の7つの事業所においては、市民から常時フードバンクの寄贈が受けられるよう特設ブースが設けられ、集まった品物をいただいています。

② 支援状況

- ・食料提供件数 244件（フードドライブを除く）
- ・生活用品提供件数 41件
- ・生活物品貸出件数 15件

3. 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯や障がい者世帯、高齢者世帯に対し、経済的自立や生活意欲の助長などを図るため、生活福祉資金の貸付をしました。

なお、新型コロナウイルスの影響で減収した世帯を対象に令和2年3月25日から令和4年9月30日まで実施した緊急小口資金等の特例貸付1,913件に対して、令和6年度に新たに38件の償還猶予が決定されました。令和4年度から令和6年度まで151件の償還猶予が決定しており、継続的な支援が必要な55人の借受人にフォローアップ支援を行いました。

（1）生活福祉資金貸付状況

資金種類	件数	金額
福祉資金	17件	1,655,000円
（うち緊急小口資金）	（11件）	（919,000円）
教育支援資金	17件	21,978,000円
総合支援資金	5件	1,106,670円
合計	40件	24,739,670円

4. 民生融金貸付事業

緊急で一時的に生活の維持が困難な場合に3万円を上限に貸付を行い、自立した生活に向けて支援しました。また、特に急迫状態にある場合には、ライフラインの確保等を図るため1万円を上限に緊急の貸付を行いました。

（1）貸付決定状況

使 途	件 数	金 額
生活保護のつなぎ	35件	741, 000円
生活福祉資金のつなぎ	1件	10, 000円
年金のつなぎ	1件	10, 000円
緊急現金貸付	11件	103, 000円
その他	5件	150, 000円
合 計	53件	1, 014, 000円

高齢者に対する包括的な支援（高齢者あんしん支援センター）

高齢者自らが介護予防に努めるとともに、状態の変化に応じて必要な支援を受けながら、できる限り住み慣れた地域で自分らしい自立した生活が続けることができるよう、行政、地域住民、地域の関係機関と連携を図りながら地域包括ケアの推進にあたりました。

1. 包括的支援事業

（1）総合相談支援業務

①地域包括支援ネットワーク構築

- ・民協定例会への出席：47回
- ・地域密着型サービス運営推進会議への出席：242回
- ・その他

・朝山高齢者見守りネットワーク運営会議・高浜地区慶人会・鳶巣地区活動等ヒアリング・四絡地区意見交換会・東地区福祉委員研修会・東地区社協会長との打合せ・多伎駐在連絡会・湖陵駐在連絡会・佐田駐在連絡会・大田市・多伎情報交換会・遙堪地区福祉委員研修会・荒木地区福祉活動委員研修会・大社健康づくり推進委員連絡会・鷺浦地区地域課題聞き取り・大社民協事例検討会・杵築西地区福祉座談会・杵築南 A 福祉座談会・鷺浦 4 町内福祉座談会・杵築南 B 福祉座談会・住民参加型福祉サービス団体連絡会・じりつ専門部会にも包括ワーキング・ふれあいサロン研修会・警察、保健所、市、あんしん連絡会・高齢者とペットに関する意見交換・住民参加型福祉サービス団体連絡会・介護予防サポーター養成講座・総合医療センター在宅支援者連絡会・認知症フリートーク打合せ・出雲圏域健康長寿しまね推進会議活動交流会・認知症フリートーク・大社小学校福祉学習・大社地域三者会・認知症カフェ打合せ・まめなが筋トレ自主トレ連絡会・認知症介護実践リーダー研修・みどりの郷出雲虐待研修・市民病院居宅虐待・成年後見研修・サンキウエルビィ職員研修

- ・出雲市高齢者べんり帳作成
- ・あんしん支援センターだより発行（2回）

② 実態把握件数： 9 3 3 件

③ 総合相談件数： 9, 5 0 3 件（新規： 1, 6 2 2 件、継続： 7, 8 8 1 件）

（２）権利擁護業務

①成年後見に関する相談対応件数： 2 2 件

②老人福祉法措置の支援： 1 2 件

（ア）高齢者虐待対応件数： 6 6 件

（イ）困難事例対応件数： 4 4 3 件

（３）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①介護支援専門員に対する個別支援件数： 3 1 8 件

② 介護支援専門員のネットワーク構築・支援に関する業務

・居宅介護支援事業者研修会（４回）

・ひかわケアマネカフェ（２回）

・ひかわケアマネ談話室（６回）

・河南４居宅事業所連絡会・ケアマネカフェ

・大社地域ケアマネカフェ

・斐川地域居宅介護支援事業所共同事例検討会

・居宅介護支援事業所訪問（５回）

・西田地区意見交換会打合せ会

・出雲地域介護支援専門員協会役員会及び総会への出席（６回）

・介護支援専門員を対象とした研修会・事例検討会等について

２．一般介護予防事業の一部

（１）介護予防把握業務

地域の関係者とのネットワークや訪問活動を通して、閉じこもり等介護予防が必要な高齢者の把握を行いました。

（２）介護予防普及啓発業務

①啓発活動

・サロン： 1 2 回 ・自主グループ： 1 8 回

・高齢者クラブ： 3 回 ・その他： 1 3 回

②自主グループ立ち上げ・運営支援： 5 9 回

３．第１号介護予防支援業務・指定介護予防支援業務

①介護予防支援件数： 2 1, 1 9 0 件（うち委託 1 0, 1 4 5 件）

②介護予防ケアマネジメント件数： 9, 8 5 6 件（うち委託 2, 5 7 7 件）

③給付外担当件数（申請中、サービス調整中、住宅改修・用具購入のみ等）

： 1, 7 7 3 件

4. 地域ケア会議に関する業務

- (1) 個別ケース会議 : 22回
- (2) 地域ネットワーク会議 : 5回
- (3) 出雲市地域ケア個別会議 : 6回 (作業ワーキング含む)

5. 生活支援体制構築

- (1) 生活支援体制推進協議体(第1層) : 1回
- (2) 生活支援体制推進協議体(第2層) : 3回
- (3) 生活支援体制整備事業定例会 : 6回

6. その他

(1) 各種会議

①内部会議

- ・あんしん支援センター連絡会 : 12回 ・各センター会議 : 58回
- ・職種別会議 : 35回

② 外部会議

- ・地域包括支援センター定例会 : 6回
- ・出雲市福祉総合相談担当者連絡会 : 1回
- ・認知症初期集中支援チーム : 9回
- ・養護老人ホーム入所判定会 : 8回
- ・出雲市介護保険運営協議会 : 3回
- ・出雲市介護保険運営協議会地域支援部会 : 2回
- ・出雲市認知症高齢者支援強化検討委員会 : 3回
- ・出雲市介護予防活動支援検討会 : 3回
- ・出雲市在宅医療介護連携推進会議 : 2回

その他<内容>

・青壮年期高齢者健康づくりネットワーク会議・食育推進ネットワーク会議・出雲市総合医療センター経営強化プラン評価委員会・出雲地域精神保健福祉委員会・市健康福祉部と出雲市社協との意見交換会・ケアマネ協会と身寄りのない高齢者の支援に関する検討会・身寄りのない方の支援者会議・身寄りのない方への支援松江市社協視察・ケアマネと相談支援専門員の連絡会打合せ・生活支援ハウス入所判定会・出雲保健所との意見交換会・なないろ教室との打合せ・大田市包括センターとの情報共有・出雲医療看護専門学校実習担当者会・県立大学地域・在宅看護学実習連絡会・島根県地域包括連絡会総会及びセンター長会・居宅介護支

援事業者研修会講師打合せ会・地域包括支援センター保健師意見交換会・出雲市総合社会福祉大会・介護ソフトWINCARE説明・求人検索エンジン「ワークリー」業務説明会・島根県介護支援専門員実務研修講師・身寄りのない高齢者シンポジウム・患者さんの視点にたった医療を考える委員会・市介護保険サービス事業者集団指導・まめネット説明・見守りケアコールヒアリング・市との協議（認知症支援について、介護予防支援事業所の指定について、継続利用要介護者の請求について、ルピナスネット出雲の活用について、佐田行政センターWi-Fi設置について、生活支援体制整備事業について）

（２）職員研修

①内部研修

○新規採用職員対象

- ・出雲市社協新規採用職員研修
- ・あんしん支援センター新規採用職員研修（高齢者虐待研修含む）

○全職員対象

- ・高齢者虐待・権利擁護研修
- ・社協職員研修「社会保障制度と地域包括ケア」
- ・メンタルヘルス研修
- ・感染症予防研修
- ・ネットワーク研修

②外部研修

○資格の取得・更新に係る研修

- ・主任介護支援専門員更新研修：２名
- ・主任介護支援専門員研修：２名
- ・介護支援専門員研修兼更新研修（専門課程Ⅱ）：１名

○職員の資質向上に資する研修等：のべ１１５名

・出雲糖尿病合同カンファレンス・出雲圏域難病医療研修会・中国ブロック地域包括在介センター協議会基礎研修・コミュニティソーシャルワーク実践基礎研修・地域包括支援センター研修・出雲圏域重症神経難病患者に係る介護支援専門員連絡会研修・出雲認知症研修会・安全運転管理者講習・健康ハートの日・ひきこもり支援従事者研修・アルコール関連問題支援者研修会・島根県メンタルヘルスケア研修会・中国５県地域包括ケアシステム推進セミナー・国民年金保険料の免除手続き等に関する制度周知・認知症ケアフォーラムinいずも・今さら聞けない福祉用具の基礎知識・ひきこもり支援研修会「ひきこもりの子を持つ親の生活設計」・介護支援専門員研修「意思決定支援研修」・メンタルヘルス研修（管理職コース）・在宅療養懇話会（医師懇話会）・中国・四国都市社

会福祉協議会連絡協議会研修会・出雲市障がい者相談支援機能強化事業
研修会・介護予防研修会・身寄りのない高齢者支援シンポジウム・罪を
犯した人の支援に携わる福祉関係者のための研修会・無料定額診療制度
について・出雲市居宅介護支援事業者研修会・出雲市自立支援協議会サ
ービス調整会議

権利擁護を必要とする人に対する支援（いずも権利擁護センター）

認知症や知的障がい、精神障がいなどの理由で判断能力が十分でない人たちの権利を擁護するとともに、権利が損なわれた場合に相談に応じるなど、地域において安心して生活できるよう相談から援助まで一元的に行いました。

１．日常生活自立支援事業

利用者に対して福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などの生活支援を行いました。

（１）利用者数 １３７人

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
35	29	67	6	137

※新規２０人 終了１９人

（２）生活支援員の状況

・生活支援員数 ７８人（うち活動５６人）

（３）生活支援員などによる代行支援件数 ２，０４２件

（４）専門員などによる相談支援件数 ９，５０１件

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
2,760	1,576	4,831	334	9,501

（５）ケース会議 １６３回

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
33	34	95	1	163

（６）研修会等

①生活支援員研修会

- ・日常生活自立支援事業と成年後見制度
- ・医療観察・保護観察制度

②専門員研修

- ・新任専門員研修会
- ・専門員実践力強化研修会

2. 財産保全サービス事業

高齢や障がいなどにより、自分で財産の保管が困難な人に対して、本人に代わって財産を銀行の貸金庫に保管し、安心して生活ができるよう支援を行いました。

利用件数 8件

高齢者	身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
2	0	5	0	1	8

3. 法人後見事業

法人後見受任ケースに対する適正な財産管理と身上監護に努めました。

また、随時、成年後見制度に関する相談に応じ、制度の啓発に努めました。

(1) 受任件数 10件

類型	受任件数	区 分					
		高齢者		知的障がい者		精神障がい者	
		在宅	施設等	在宅	施設等	在宅	施設等
補助	0	0	0	0	0	0	0
保佐	4	0	0	0	2	2	0
後見	6	0	0	0	2	1	3
合計	10	0	0	0	4	3	3

(2) 法人後見業務件数 812件

	高齢者	知的障がい者	精神障がい者	合計
財産管理	0	78	174	252
身上監護	3	286	271	560
合計	3	364	445	812

4. 市民後見推進事業

市民後見人の活動支援及び新たな市民後見人の誕生に向け出雲市及び出雲成年後見センターと連携し、推進を図りました。また、市民後見人バンク登録者に活動の場を提供し、モチベーションの維持と資質向上を図りました。

成年後見制度をより多くの方に理解していただくために、出前講座や本会が発行している広報紙「社協だよりいずも」に掲載し、啓発に努めました。

(1) 市民後見人の活動支援

- ・受任者 3人(成年後見人)

① 相談・助言等 随時対応

③ 市民後見人事務支援の立ち合い

- ・実施日 令和6年6月24日（月）
令和6年10月28日（月）
令和6年12月10日（火）
令和7年1月17日（金）
令和7年2月5日（金）
令和7年3月6日（木）
- ・会 場 出雲市社会福祉センター
- ③その他 「成年後見賠償責任保険」の加入

（2）市民後見人バンク登録者への活動の場の提供

- ・市民後見人バンク登録者 31人
- ・日常生活自立支援事業の生活支援員として10人に活動の場を提供しました。

（3）フォローアップ研修会

- （第1回） 開催日 令和6年10月11日（金）
会 場 出雲科学館
内 容 「障がいの理解と連携機関の役割」
講師 相談支援事業所ハートピア出雲 萬代 祐二氏
出席者数 20名
- （第2回） 開催日 令和7年2月13日（木）
会 場 出雲科学館
内 容 「知っておきたい相続と遺言について」
講師 島根県司法書士会 司法書士 塩野 真弓氏
出席者数 15名

（4）成年後見制度普及啓発

①「社協だよりいずも」への掲載（令和7年2月発行）

②出前講座

- ・北浜地区民生委員児童委員協議会 令和6年 8月 9日（金） 8名
- ・大津地区社会福祉協議会主催 住民向け 令和6年11月 7日（木）35名
- ・佐香地区民生委員児童委員協議会 令和7年 3月11日（火）10名

5. 障がい者入居債務保証事業

障がい者の社会復帰の促進や地域生活の継続が可能となるように、一般住宅へ入居する際の債務保証を行いました。

利用件数 9件

身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	合計
1	2	6	9

6. 関係機関との連携強化

- (1) 出雲市地域連携ネットワーク（裁判所、出雲市、出雲成年後見センター）
- (2) 出雲成年後見センター

総合的な相談支援（総務課）

複雑化・多様化した生活課題に多くの関係機関が相互に連携・協働しながら総合的に対応できる体制づくりに出雲市とともに取り組みました。

出雲市とともに「出雲市福祉総合相談支援事業」を実施し、既存の福祉相談窓口の機能を最大限活用し、属性を問わず本人やその世帯が抱える地域生活課題を包括的に受けとめ、複雑化・複合化した支援ニーズに対し柔軟に対応できる相談支援を行いました。単独の相談支援事業者では解決が難しい場合、適切な相談支援事業者や各種支援機関との連携を図りながら支援を行いました。

1. 出雲市福祉総合相談支援事業

(1) 関係機関・家族等からの相談・問い合わせ等の状況 827件

(2) 事業対象世帯数 53世帯

・世帯分類

単身	高齢者のみ	母子・父子	高齢者と独身の子	3世代同居	その他	合計
12	0	8	6	5	22	53

・年代別人数

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	合計
28	22	14	28	22	15	26	3	158

・ケース検討会の開催 39回

・対応状況

状況	件数
関係機関へつないだ	0
課題解決（終結）	2
課題改善（終結）	1
死去・連絡途絶えた等	0
継続支援中	50
合計	53

(3) 会議・研修会の開催

①相談支援包括化推進会議

開催日 令和6年11月12日

内 容 出雲市福祉総合相談支援事業に関する説明

※生活困窮者自立支援ネットワーク会議と兼ねて開催。

②出雲市福祉総合相談支援事業担当者研修会

開催日 令和6年10月29日（火）

内 容 第3の居場所実施団体によるリレートーク

講 師 フリースクールREわっく 大國 貴之氏

コネクトほ一む 井上 恵美子氏

おとなの居場所づくり&秘密基地 柳樂 昭子氏

（4）担当者連絡会の実施 2回

出雲市における望ましい総合相談体制のあり方、個人情報取り扱い、コーディネーターの役割、関係機関の役割分担、地域での福祉課題の早期発見のための工夫や参加と支援等について検討しました。

（第1回）令和6年7月19日（金）

（第2回）令和7年2月4日（火）

（5）広報・啓発活動 5回

①教育委員会児童生徒支援課との意見交換会

開催日 令和6年4月18日（木）

内 容 事業説明

②精神保健包括支援会議

開催日 令和6年5月16日（木）

内 容 事業説明・事例紹介

③安来市社会福祉協議会視察対応

開催日 令和6年6月12日（水）

内 容 事業説明・事例紹介

④就労準備研修会

開催日 令和6年11月26日（火）

内 容 事業説明・事例紹介

⑤市内居宅介護支援事業所による勉強会

開催日 令和6年11月27日（水）

内 容 事業説明・事例紹介

⑥地域共生社会推進会議

開催日 令和7年1月29日（水）

内 容 事業説明・事例紹介

（6）参加支援事業

社会的に孤立している方や、学校に行きづらい子とその保護者のために活動している第3の居場所（サードプレイス）を訪問し、ニーズの高かった市内の活動団体を可視化したマップを作成しました。

- ・訪問したサードプレイス活動団体 30団体
- ・「出雲のサードプレイスMAP」 掲載団体 29団体

物価高騰等の影響を受けた人に対する支援

1. フードドライブ等実施事業

物価高騰等により経済的に困窮している子育て家庭や失業中の家庭、ひとり親家庭などの生活を支えるため、市民や企業から寄贈いただいた食品・日用品を届けました。

なお、「地域貢献のための出雲市社会福祉法人連絡協議会」と協働開催しました。

実施日 （1回目）令和6年8月1日（木）～3日（土）

（2回目）令和6年12月12日（木）～14（土）

協力者 277の個人・団体（うち、Amazonほしいもののリスト4件）

利用者 延べ2,758人（うち子ども（18歳以下）1,045人）

（国籍：日本、バングラデシュ、フィリピン、ブラジル、モンゴル等）

会 場 出雲市社会福祉センター、本会各支所

地 域 支 援 （地域づくり）

課題解決に向けて当事者を含めた地域住民等によるネットワークの組織化を図り、必要に応じて援助を行うことができる地域社会（福祉コミュニティ）づくりに取り組みました。

地域住民の主体的な福祉活動の推進 （地域福祉課）

地域住民の主体的な取組により、地域住民が相互に交流する場を広げ、福祉サービスなどを必要としている人や世帯を発見し、課題解決を図る活動や相談支援機関等につないでいく仕組みづくりを進めました。

1. 地区社会福祉協議会等活動総合支援事業

住み慣れた地域で誰もが安心していきいきと暮らせるまちづくりを推進していくため、住民によって組織された42地区の地区社会福祉協議会等で実施する福祉活動に対して相談に応じながら必要な支援を行いました。

また重点活動への関わりについては、子どもの居場所づくりとして「子ども食堂」など、新たな取組についての支援や各地区において福祉委員の活動推進への支援を行いました。

①事業実施団体数

助成区分		出雲	平田	佐田	多伎	湖陵	大社	斐川	合計
1. 高齢者の健康と福祉を高める活動	見守り・声かけ活動	10	5	1	1	1	1	0	19
	生活応援活動	1	0	0	0	0	0	0	1
	認知症になっても安心して暮らせるまちづくり活動	8	3(1)	0	0	0	1	0	12(1)
	その他高齢者活動	12	11	1	1(1)	1	5(1)	6	37(2)
2. 心身に障がいをもつ人の福祉を高める活動		7(1)	1	0	1	0	0	1	10(1)
3. 子どもを健やかに育てる活動	子どもの居場所づくり	4	1	1	0	0	1	0	7
	子育てサロン活動	12	2	0	0	0	1	3	18
	子どもの遊び場補修及び新設事業	4	2	0	0	0	1	1	8
	その他子ども対象活動	11	10	1	1	1	4	7	35
4. ボランティアの発掘及び育成のための活動	世話やきボランティア養成講座	7(1)	0	1	1(1)	1	3	0	13(2)
	地区独自の活動	6	4	0	0	0	2	0	12
5. 広報啓発のための活動	地区社協だより発行事業	16	10	1	1	1	4	3	36
	住民座談会	2	1	0	0	0	4	0	7
	その他広報啓発活動	3	1	1	1	0	0	0	6

6. 福祉活動計画を作成するための活動		0	1	0	0	0	0	1	2
7. その他地域福祉活動	地域支え合い研修会	1(1)	1	1(1)	0	1(1)	0	0	4(3)
	相談所設置事業	2	0	0	0	0	0	0	2
	拠点整備事業	2	0	0	0	0	2	2	6
	地区独自の事業	4	1	0	1	0	0	2(1)	8(1)

※（ ）は返還金＜全額＞があった団体数。

②助成団体数・助成金交付額

42団体／12,592,284円（うち、1,010,235円は返還）

	団体数	助成交付金額		団体数	助成交付金額
出雲	16	5,744,794円	湖陵	1	311,000円
平田	11	2,342,350円	大社	5	1,394,000円
佐田	1	412,000円	斐川	7	2,066,140円
多伎	1	322,000円	合計	42	12,592,284円

2. 地区社会福祉協議会連絡会の開催

地区社会福祉協議会との連絡会を開催し、地区での住民福祉活動の推進や地区社会福祉協議会活動等についての意見交換や情報交換を行いました。

①出雲

（出雲地域地区社会福祉協議会会長会）

【会長会定例会】

（第1回） 開催日 令和6年5月22日（水）

会 場 出雲市社会福祉センター

参加者 15地区（15人）

内 容 ・任期満了に伴う役員改選について
・令和5年度事業報告・決算について
・令和6年度事業計画・予算について
・福祉委員活動促進事業助成金交付要項の改正について

（第2回） 開催日 令和6年9月25日（水）

会 場 出雲市社会福祉センター

参加者 15地区（15人）

内 容 ・令和6年度事業の実施について
・意見交換（ブロック別の意見交換）

【会長・事務局長会議】

開催日 令和6年12月3日（火）

会 場 出雲市社会福祉センター

参加者 16地区（33人）

内 容 ・令和7年度地区社協等活動総合支援事業について
・令和7年度ふれあいサロン事業について
・令和6年度先進地視察研修の報告について

- ・意見交換

②平田

(平田地域福祉のまちづくり協議会)

(第1回) 開催日 令和6年5月31日(金)

会 場 平田福祉館

参加者 11地区(16人)

内 容 ・令和5年度事業報告・決算報告について

(第2回) 開催日 令和6年7月30日(火)

会 場 平田福祉館

参加者 11地区(20人)

内 容 ・共同募金について
・視察研修について
・歳末たすけあい事業について

(第3回) 開催日 令和6年11月8日(金)

会 場 平田福祉館

参加者 11地区(16人)

内 容 ・平田地域福祉のまちづくり協議会フードドライブ事業
について

(第4回) 開催日 令和6年12月6日(金)

会 場 平田福祉館

参加者 11地区(15人)

内 容 ・地区社協等活動総合支援事業について
・出雲市ふれあいサロン活動助成金について
・平田地域福祉のまちづくり協議会フードドライブ事業
の報告について
・視察研修の報告について
・制服リユース事業について

(第5回) 開催日 令和7年3月26日(水)

会 場 平田福祉館

参加者 11地区(17人)

内 容 ・令和6年度事業計画・予算について
・日赤会費の募集について

③佐田

(地区社協会長・事務担当者会)

開催日 令和6年12月6日(金)

会 場 潮の井荘

参加者 事務局1名

内 容 ・ 令和 7 年度地区社協等活動総合支援事業について

④湖陵

(地区社協会長・事務担当者会)

開催日 令和 6 年 1 2 月 2 4 日 (火)

会 場 湖陵コミュニティセンター

参加者 地区会長、事務局 1 名

内 容 ・ 令和 7 年度地区社協等活動総合支援事業について
・ 意見交換

⑤大社

(地区社協総合支援事業・ふれあいサロン事業説明会)

開催日 令和 7 年 1 月 1 0 日 (金)

会 場 大社行政センター

参加者 5 地区 (9 人)

内 容 ・ 令和 7 年度地区社協等活動総合支援事業について
・ 令和 7 年度ふれあいサロン事業について

⑥斐川

(地区社協会長連絡会)

(第 1 回) 開催日 令和 6 年 6 月 1 7 日 (月)

会 場 まめなが一番館

参加者 7 地区会長、事務局 (15 人)

内 容 ・ 令和 5 年度地区社協等活動総合支援事業について
・ 令和 6 年度各地区社会福祉協議会の取り組みについて

(第 2 回) 開催日 令和 6 年 1 2 月 6 日 (金)

会 場 まめなが一番館

参加者 7 地区会長、事務局 (12 人)

内 容 ・ 令和 6 年度各地区社会福祉協議会の取り組みについて
・ 地区社会福祉協議会等活動総合支援事業について
・ 令和 7 年度各地区社会福祉協議会等活動総合支援事業について

3. ふれあいサロン活動助成事業

住民主体による身近な場所での高齢者の仲間づくりの活動や交流を通し、社会参加や介護予防などの健康づくりを進めました。定期的な開催を働きかけ、76 のサロンが月 1 回以上の開催となりました。

また、ふれあいサロン活動を行う団体やこれからふれあいサロン活動を行う予定の団体を対象に研修を行いました。

② 助成団体数・助成交付額

49団体／20,294,682円（内、1,890,543円は返還）

地域	団体数	助成交付額	地域	団体数	助成交付額
出雲	16	8,215,172円	湖陵	2	386,000円
平田	11	3,708,600円	大社	5	2,710,000円
佐田	7	1,211,000円	斐川	7	3,863,910円
多伎	1	200,000円	合計	49	20,294,682円

②各地域のサロン数、参加人数、年間平均開催数（実績）

	出雲	平田	佐田	多伎	湖陵	大社	斐川	合計
サロン数	173	50	7	12	2	47	23	314
参加人数 (延べ)	16,456	7,833	897	2,247	547	5,403	5,566	38,949
年間開催数	1,075	506	64	149	48	452	324	2,618
年間平均 開催数	6.2	10.1	9.1	12.4	24	9.6	14.1	8.3 (平均)

③サロン研修会の開催状況

・全域

開催日 令和6年11月1日（金）

会 場 朱鷺会館

参加者 60人

内 容 地域の居場所（ふれあいサロン、子ども食堂、通いの場）の事例発表、
グループディスカッション

対 象 ふれあいサロン活動スタッフ及び参加者、ふれあいサロン活動に関心
のある方

・平田・斐川

開催日 令和6年9月13日（金）

会 場 まめなが一番館

参加者 28人

内 容 平田地域・斐川地域のふれあいサロン交流会

対 象 平田地域のふれあいサロン11団体

斐川地域のふれあいサロン7団体と小地域サロン17団体

4. 子ども食堂活動支援事業

子ども食堂の活動がより活発化していくことを目的に活動支援及びネットワークづくりに取り組みました。

（1）活動支援

相談件数：122件

内容	件数
活動協力	15
寄贈（物・食品）	28
寄付（金）	7
継続相談	7
相談者からの情報提供	5
その他	32
立ち上げ	17
本会からの情報提供（助成金など）	11

（２）ネットワークづくり

・出雲市子ども食堂交流会

開催日 令和6年11月11日（月）

会 場 出雲市社会福祉センター

参加者 31名

内 容 ・衛生指導

講師：出雲保健所 生指導課 食品係 大西 理恵氏

・活動紹介

講師：特定非営利活動法人しまね子ども支援プロジェクト 副理事長
樋口 和広氏

・情報提供

出雲市福祉推進課、島根県社会福祉協議会

・交流と情報交換

・食堂開催日カレンダーについて説明

・「出雲市子ども食堂サイト」の開設

出雲市内の子ども食堂についてお知らせするWEBサイトを開設しました。Googleカレンダーを用いて、市内子ども食堂の開催日の共有が可能となりました。開催日の入力には各団体に依頼しています。

登録団体：35団体

5. 地域ふれあい見守りネットワーク事業

各地区社会福祉協議会や福祉団体等との連携と協働により、地域特性をいかして高齢者等の見守り活動を行いました。

①多伎

・見守り活動

活動者：民生委員、福祉委員 28人

内 容：見守り登録者 73人（66世帯）

毎月の訪問（ほっとだより配布） 60世帯

・救急医療情報キット配布 68世帯

②湖陵

・「あんどカード」の作成〔緊急時の連絡票〕

配付先：75歳以上の高齢者世帯（希望者）158世帯

・12月から「救急医療情報キット」配付

配布先：地区内で見守りが必要な世帯（希望者）126世帯

③斐川

・見守り活動

活動者：民生委員、福祉委員他

内 容：一人暮らし高齢者宅への訪問

・「ふれあいレター」〔見守り訪問時に配る絵手紙〕（奇数月発行）

作成者：ボランティア

配付先：一人暮らし高齢者（希望者）267世帯

・「お元気ですか」〔見守り訪問時に配るおたより〕（偶数月発行）

配布先：一人暮らし高齢者と見守りの必要な高齢者（希望者）582世帯

6. 福祉団体活動助成事業

出雲市内で福祉団体等が行う高齢者、障がい者、児童等の福祉の向上を目的とした自主的・積極的な活動に対し助成を行いました。

①助成金交付額 5,712,830円（うち、103,756円は返還）

②助成団体 21団体

出雲市遺族会	斐川町遺族会	出雲仏教会
出雲視覚障害者福祉協会	出雲市高齢者クラブ連合会	出雲市身障者福祉協会※
出雲市聴覚障害者協会	ひえばらお助けマン互助会	出雲市認知症キャラバン・メイト連絡会
出雲 縁ingトークの会	子どもサポートプロジェクト	出雲市手をつなぐ育成会
出雲スポーツ振興21	夢みるHIRATA	サークル・ベートーベン
インクルーシブなまちをめざす縁JOYの会	子ども食堂と学生をつなぎ隊	特定非営利活動法人しまね子ども支援プロジェクト
昭和歌謡バンドジージーズ	ユナイトIZUMO※	斐川地域地区社会福祉協議会

※印は返還金のあった団体

地域住民等の参加と協働による福祉のまちづくりの推進（地域福祉課）

地域住民（福祉団体・福祉施設）等の参加と協働による支え合いの活動により、安心して暮らすことができるまちづくりを推進しました。

1. 認知症高齢者等ＳＯＳメール安心ネットワーク事業

認知症や障がいがあっても安心して暮らすことができるまちづくりを推進するため、認知症高齢者等が行方不明になった際に、ＳＯＳメール登録者のスマートフォン・携帯電話等に行方不明者情報をメール配信し、早期発見を図りました。

また、行方不明になることが心配される認知症高齢者等の名前、特徴、写真などの情報をあらかじめ登録する事前登録制度についてＳＯＳメール登録者募集のチラシを地域での研修会や行事等で配布し、周知啓発に努めました。

- ①登録メールアドレス数 1, 776アドレス
(新規登録66アドレス、取消7アドレス)
- ②メール配信件数 8件（行方不明者2人：4件、啓発等：4件）
- ③事前登録者数 150人（新規登録25人、取消6人）

2. 出雲市生活支援体制整備事業

高齢者の在宅生活を支えるために、生活支援サービスの充実を図るとともに、地域における支え合いの体制づくりに取り組みました。

(1) 地域における支え合いの体制づくり

①地域支え合い研修会

たすけあい活動の必要性の理解を深め、支え合いの意識醸成を行う研修会を実施しました。

【実施状況】実施回数 4回

参加者数 延べ69人

②第2層協議体の開催

地域の課題を効率的かつ効果的に把握し住民主体でそれらを解決していくため、第2層協議体のエリアを旧市町単位に再設定し、たすけあい活動団体関係者を中心として必要な議論を行いました。

- ・令和6年7月26日（金）：（第1回）第2層協議体
話し合いのテーマ：活動地域での協力体制づくりについて
グループ分け：①出雲北・大社、②出雲南、③平田・斐川、④河南
- ・令和6年9月27日（金）：（第2回）第2層協議体
話し合いのテーマ：担い手確保の取り組みについて
今後検討していきたい地域課題について

- グループ分け : ①出雲北・大社、②出雲南、③平田・斐川
- ・令和7年1月15日(水) : (第3回) 第2層協議体
- 話し合いのテーマ : 今後検討していきたい地域課題について
- グループ分け : ①出雲北・大社、②出雲南・佐田、③平田・斐川

(2) 生活支援サービスの充実(住民による支え合い(生活支援)の場づくり)

①生活支援(たすけあい活動)団体ネットワーク

連携協働して、生活支援サービスの充実が図れるよう住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会を開催しました。

- 開催日 (第1回) 令和6年7月26日(金)
(第2回) 令和6年9月27日(金)
(第3回) 令和7年1月15日(水)

- 会場 (第1回) 出雲弥生の森博物館
(第2回) 出雲市社会福祉センター
(第3回) 出雲弥生の森博物館

参加 市内のたすけあい活動団体 15団体

②たすけあい活動団体の新たな活動者の発掘に係る取組

共通の課題である「活動者の発掘」を促すための取組を行いました。

- ・活動者募集を主眼に置いたチラシの更新
- ・チラシを65歳到達時に送付する介護保険被保険者証に同封し広く周知
- ・市との連携による市内企業退職者セミナー等を通じての周知

③たすけあい(生活支援)活動の勉強会

新たな担い手を増やし生活支援サービスの充実を図ることを目的に、たすけあい(生活支援)活動に必要な知識や技術を学ぶ勉強会を開催しました。

- 開催日 (第1回) 令和6年7月17日(水)
(第2回) 令和7年2月18日(火)

- 会場 (第1回) 出雲市社会福祉センター
(第2回) 出雲市社会福祉センター

参加者 19人(第1回:12人、第2回:7人)

内容 講義:「学んでなっ得!たすけあい活動の基礎知識と心がまえ」
講師:さわやか福祉財団 さわやかインストラクター 熊谷 美和子氏
団体紹介:「市内たすけあい活動団体紹介」
説明者:出雲市社協 生活支援コーディネーター

④出雲市訪問型サービスA生活援助員養成研修

出雲市における訪問型サービスAに従事する生活援助員を養成するための研修を

開催しました。

- 開催日 (第1回) 令和6年6月28日(金)
(第2回) 令和6年12月10日(火)
- 会場 (第1回) 出雲市社会福祉センター
(第2回) 出雲市保健センター
- 参加者 10人(第1回:4人、第2回:6人)
- 内容 (1) 介護保険制度及び福祉サービスの理解
(2) 高齢者の心身機能及び健康の理解
(3) 認知症の理解
(4) 訪問型サービスAの理解
(5) リスクマネジメントと緊急時の対応
(6) 介護におけるコミュニケーション
- 講師 有限会社えるだー 取締役 黒松 基子氏

⑤社会資源情報の見える化(「てごナビ」)

市内の社会資源情報の把握し、高齢者や家族及びその人たちを支援する方が簡単に必要な情報を取得できるように、暮らしのお役立ち情報『てごナビ』(<http://tegonavi.com/>)を運用しました。

・掲載事業所数:100事業所

⑥「出雲市たすけあい活動団体パンフレット」による啓発

支援を必要とする人の利用促進と新たな活動者の掘り起こしのために、生活支援(たすけあい活動)団体の情報を一元化したパンフレットを関係団体・機関等へ配付しました。

⑦協同組合系組織との協働

たすけあい活動団体のうち協同組合やボランティア団体で構成する「地域つながりセンター」と協働で、団体共通の課題である「担い手確保」や「ケアマネジャーとの相互理解」について意見交換を行い、令和7年度に向けて企画立案等を行いました。また、たすけあい活動団体のコーディネーター交流会を開催しました。

【コーディネーター交流会】

- (第1回) 令和6年5月16日(木)
(第2回) 令和6年8月22日(木)
(第3回) 令和6年11月21日(木)
(第4回) 令和7年2月20日(木)

(3) 生活支援コーディネーターの取組状況

活動状況	件数	内容
研修（講師）	7 2	地域での支え合い（見守り、居場所、支え合い等）についての研修講師
ネットワーク 会議・連絡会	1 7	団体連絡会など関係する団体とのネットワーク化を図る会 （例：住民参加型福祉サービス団体連絡会）
相談・支援	6 4	生活支援サービス提供団体からの相談、立ち上げに向けた相談 や働きかけなど
定例会	1 0	市との体制整備事業についての推進会議
外部会議への 参加・説明	7 2	外部の機関・団体による会議への参加及び事業説明、外部機関 等の行事打合せ等
研修実施	2 8	支え合い活動などの担い手研修、フォーラムなど（協議等含） （例：地域支え合いフォーラム）
ニーズ把握・ 社会資源把握	5 4	社会資源情報の把握・見える化や全市的な課題やニーズの把握 など（協議等含）、サロン活動等の状況把握等の参加
外部研修への 参加	1 7	外部の機関・団体による研修への参加
内部協議	5 3	内部（あんしん支援センター、市）における協議、会議
視察	3	先進地への視察
視察対応	0	外部からの視察対応
その他	1 6 4	
合計	5 5 4	

3. 住民参加型在宅福祉サービス事業

住民が地域で安心して暮らすことができるよう、公的サービスでは対応できないニーズを解決するために、住民相互の助け合いによる有償の福祉サービスを実施しました。

（1）たすけあいボランティア事業

利用会員の要望に応じて、協力会員が家事援助、通院の付き添いや話し相手（見守り）等を行いました。

①会員数：利用会員 9 1 人、協力会員 4 9 人、賛助会員 1 0 人

	出雲	平田	佐田	多伎	湖陵	大社	斐川	市外	合計
利用会員	80	0	0	6	0	5	0	0	91
協力会員	34	1	1	7	0	3	3	0	49
賛助会員	8	1	0	0	0	0	0	1	10

②利用状況：1, 3 5 7 件／2, 5 3 4 時間

内容	利用件数	利用時間	内容	利用件数	利用時間
衣類の洗濯等	8	21	住居の補修	9	28
住居の掃除等	765	1, 441	食事の支度	45	78

買物等	210	219	軽易な介護	0	0
外出の介助等	27	72	保育・養育	51	103
話し相手	99	207	その他	11	16
草取り等	132	349	合 計	1, 357	2, 534

(2) 療育支援訪問事業（すこやか訪問事業）

出産後、子育てに不安な養育者に対して家事援助や育児援助を行いました。

・利用世帯：0世帯

(3) 家事育児訪問サポート事業

妊娠中または3歳未満を療育している保護者に対して家事援助や育児援助を行いました。

・利用世帯：7世帯

4. 共同募金歳末助け合い事業

年末時期に、一人暮らし高齢者世帯や低所得世帯等に対して、家屋修繕や清掃等の生活援助、地域の福祉団体への助成等を行いました。

①出雲

・75歳以上の高齢者のみ世帯や障がい者のみ世帯の希望者に対して、小規模な家屋修繕または家屋（内外）の清掃を行いました。

実績：62世帯

②平田

・支援が必要な方を対象として、地区社協やボランティアグループ等が主体的に行う活動等へ助成を行いました。

実績：7地区社協

③佐田

・70歳以上のひとり暮らし高齢者や75歳以上の高齢者のみ世帯に対して、声かけによる安否確認を兼ねて、佐田特産品セットをお届けしました。

実績：209世帯

④多伎

・80歳以上の高齢者のみ世帯の希望者に対して、障子や襖の張替え、年末大掃除、建具小修繕等を行いました。

実績：63世帯

・見守り登録世帯、一人親世帯、生活にお困りの世帯に対して贈答品をお届けしました。

実績：地域ふれあい見守りネットワーク事業登録世帯 67世帯

ひとり親世帯 10世帯

生活にお困りの世帯（フードドライブ申込世帯） 14世帯

・救急医療情報キット申込世帯へキットをお届けしました。 68世帯

⑤湖陵

- ・ 80歳以上の高齢者のみ世帯、生活にお困りの世帯に対して、贈答品をお届けしました。

実績：143世帯

⑥大社

- ・ 80歳以上の一人暮らし高齢者世帯、ひとり親世帯、支援を必要とする世帯に対して、贈答品をお届けしました。

実績：377世帯

⑦斐川

- ・ 65歳以上の一人暮らし高齢者のうち「ふれあいレター」希望者に対して、町内の小中学生が作成した年賀状を送り、地域社会とのつながりを実感する機会としました。

実績：270世帯へ送付

福祉サービスの提供（地域福祉課）

1. 車いす貸出事業

在宅の高齢者、障がい者、けが等で車いすを必要とする人に車いすを無料で貸し出しました。

貸出件数

出雲	平田	佐田	多伎	湖陵	大社	斐川	合計
98	24	3	3	8	23	22	181

2. ガイドヘルプ事業

障がい者総合支援法による地域生活支援事業（移動支援事業）を実施し、視覚障がい者に対して、外出時の安全のためにガイドヘルパーを派遣しました。

また、移動支援事業の給付の対象外となる通院時の院内付添いについては、独自にサービスを提供しました。

①ガイドヘルパー 12人（常勤1人、登録11人）

②実利用者数 18人

③利用実績

区分	利用日数	利用時間
個別支援	858	2231.0
内、給付対象外	211	207.5
グループ支援	11	59.5
合計	869	2290.5

④利用内容

区分	利用日数
通学・通勤	13

日常生活	645
通院	211
合計	869

社会福祉法人等との連携・協働及び支援等（総務課、地域福祉課、生活支援課）

社会福祉法人等の福祉事業者や福祉関係者・団体との連携・協働により地域福祉を推進するとともに、福祉団体の支援を行いました。

1. 社会福祉法人による地域貢献活動推進事業

市内で社会福祉事業を行っている社会福祉法人により設立された「地域貢献のための出雲市社会福祉法人連絡協議会」及び斐川地域の社会福祉法人により設立された「斐川地域社会福祉法人の地域貢献連絡会」の事務局を担当しました。

（1）地域貢献のための出雲市社会福祉法人連絡協議会

- ・加入法人数 40 法人
- ・総会

開催日	令和6年7月23日（火）
内 容	・第1号議案 令和5年度事業報告について ・第2号議案 令和5年度決算について ・第3号議案 令和6年度事業計画について ・第4号議案 令和6年度予算について
- ・役員会

開催日	令和6年6月3日（月）
内 容	・令和5年度事業報告及び決算（案）について ・令和6年度事業計画及び予算（案）について
- ・研修会

開催日	令和6年12月4日（水）
内 容	社会福祉法人にもとめられる権利擁護支援～社会福祉法人の潜在力を活かした権利擁護体制づくり推進モデル事業から～

（2）斐川地域社会福祉法人の地域貢献連絡会

- ・加入法人数 10 法人
- ・総会

開催日	令和6年7月1日（月）
内 容	・令和5年度事業報告、決算（案）について ・令和6年度事業計画、予算（案）について
- ・会議

（第25回）	開催日	令和7年3月11日（火）
	内 容	・令和7年度事業計画について ・令和6年度事業について
- ・研修（人権同和教育研修会）

開催日 令和6年9月 4日（水）

令和6年9月 5日（木）

令和6年9月10日（火）

令和6年9月18日（水）

令和6年9月19日（木）

令和6年9月25日（水）

内 容 ・ 人権同和研修会「LGBTQについて」

講師：出雲市同和教育啓発指導員 山岡 清志氏

2. NPO法人との連携・協働

（1）NPO 法人しまね子ども支援プロジェクトとの連携・協働

本会と NPO 法人しまね子ども支援プロジェクトは、それぞれが支援する生活困窮世帯や子育て世帯等への効果的な寄贈品の活用を目的として、必要に応じて可能な範囲で寄贈品を相互に提供できるように協定を締結しました。

・締結日：令和6年5月31日（金）

・相互提供件数：10件

3. 団体支援等

（1）出雲市民生委員児童委員協議会など社会福祉団体の支援

（2）島根県共同募金会出雲市共同募金委員会

（3）日本赤十字社島根県支部出雲市地区

人 材 育 成（人づくり）

地域福祉活動への理解と関心を高めるとともに、社会福祉に関する活動に参加する人を増やし、またその活動を活発にするための取組を進めました。

ボランティア活動の促進（地域福祉課）

ボランティアまちづくりセンターにおいて、ボランティア活動に関する相談や情報提供を行うとともに、ボランティア活動をコーディネートしました。また、ボランティア保険加入手続きや備品・活動場所の貸出などの活動支援を行いました。あわせて、ボランティア活動の担い手の育成とネットワークの拡大を図る取組を進めました。

1. ボランティアまちづくりセンターの運営

ボランティア活動への関心を高め、活動への参加促進を図るため、ボランティアまちづくりセンターを設置し、ボランティアコーディネーターを配置しました。ボランティア活動に関する相談、情報提供、必要に応じた調整等を行いました。

また、市内において増加傾向にある子ども食堂の立ち上げ、運営等に関する相談に対し、情報提供および協議への参加、活動団体の交流会開催等の支援を行いました。

（1）相談件数等

	相談	紹介			活動場所の 提供
			うち活動希望	うち派遣希望	
出 雲	504	28	10	18	155
平 田	128	12	0	12	55
佐 田	21	16	14	2	0
多 伎	35	9	1	8	28
湖 陵	14	0	0	0	0
大 社	28	0	0	0	17
斐 川	2	2	1	1	5
合 計	732	67	26	41	260

（2）保険関連件数

ボランティア活動中のケガ等の補償のため、「ボランティア活動保険」の加入手続きや請求手続きを行いました。また、地域で開催される行事のための「ボランティア行事用保険」等、各種保険の加入・請求手続きを行いました。

ボランティア活動保険		
加入件数	延べ人数	請求手続き件数
190	2, 531	1

(3) ボランティア登録数

	団体数	団体人数	個人
出 雲	77	2, 477	100
平 田	13	273	0
佐 田	17	74	8
多 伎	5	227	4
湖 陵	6	81	0
大 社	7	62	2
斐 川	9	185	0
合 計	134	3, 379	114

(4) ボランティア活動支援

①平田

住宅修繕奉仕活動

内 容 平田地域のひとり暮らし高齢者を対象にした簡易な住宅修繕と相談

開催日 令和6年12月8日(日)

活動者 平田建築組合青年部

訪問世帯 3世帯

(5) 民間助成金情報の提供

社会福祉法人及びNPO法人、ボランティアグループなどの福祉活動を財源面から支援する各種民間助成金について、情報提供及び相談対応を行いました。

①助成金情報の提供

・回 数 33回

・団体数 72団体

②相談対応

・団体数 27団体(延べ60件)

2. 技術ボランティアの養成

(1) 手話奉仕員養成講座

聴覚障がい者との手話での日常会話に必要な手話技術や知識を習得し、手話奉仕員として活動できる人を養成するための講座を開催しました。

開催日 令和6年9月7日(土)～令和7年3月29日(土)(全24回)

会 場 出雲市社会福祉センター

受講者 12人 ※次年度への継続受講者 9人

(2) 点訳奉仕員養成講座

点訳に必要な知識と技術を修得し、視覚障がい者が利用する点字図書の作成など点

訳活動ができる人を養成するために講座を開催しました。あわせて、点訳に興味関心のある人を対象に、ミニ体験会も開催しました。

① ミニ体験会

開催日 令和6年5月18日（土）

会 場 出雲市社会福祉センター

参加者 1人

② 養成講座

期 間 令和6年6月8日（土）～令和7年3月4日（火）（全21回）

会 場 出雲市社会福祉センター

講 師 出雲市アイアイ会

修了者 2人

（3）広報音訳ボランティアフォローアップ研修会

視覚に障がい者が利用する声の広報の制作にあたるボランティアの知識や技術を高めるとともに音訳活動への参加意欲を高めることを目的とする講座を開催しました。

開催日 令和6年9月4日（水）

会 場 出雲市社会福祉センター

参加者 18人

3. ボランティア活動に参加する人の拡大

（1）ボランティア講座

ボランティア活動に関する理解と関心を深めることができるような研修会・講座を提供し、地域住民が自分に適した活動に出会い活動へとつながるきっかけとなるよう支援をすることを目的に開催しました。

これから活動を始めたい人などへのきっかけを作る講座を開催しました。

① コミュニケーション講座

聞き方のコツやコミュニケーションの基本など、聞き上手になるための知識や技術を学ぶことで、ボランティア活動や日常生活に役立てていただくことを目的に開催しました。

開催日 令和6年7月26日（金）

会 場 出雲弥生の森博物館

参加者 41人

内 容 講義およびグループワーク

「聞き上手は話し上手、聞くから始めるコミュニケーション講座」

講 師 オフィス ビーぷらす 代表 岩成 洋子氏

②だれもが楽しめる障がい者スポーツ

多くの方に障がい者スポーツの歴史の現状を知り、また体験を通じて障がい者スポーツの理解促進を図ることを目的に開催しました。

開催日 令和6年12月5日（木）

会 場 島根県立浜山体育館カミアリーナ

参加者 20人

内 容 講演 「だれもが楽しめる障がい者スポーツ」

講 師 出雲市スポーツ推進協議会 副会長 板垣 謙二氏

福祉教育の推進（地域福祉課）

福祉コミュニティづくりを進めるため、地域において生涯にわたる福祉教育の展開を目指して、学校や地域社会、企業等において福祉教育を推進しました。

特に、障がい者に関する取組については、当事者とともに実施することで、障がい者に対する正しい認識と関わりについて理解を深めました。

1. 福祉教育推進事業

学校や地域、職場等において、地域住民が福祉への関心を高め、理解を深めるための福祉教育を推進しました。

（1）福祉学習支援

小学校、中学校、高等学校、企業等に対して、車いすやアイマスク等の貸出や福祉学習プログラムへの助言を行うとともに、職員を講師として派遣しました。

（2）あいサポート運動推進事業

多様な障がいの特性や障がい者が日常生活の中で、工夫していること、困っていること、障がい者への配慮等を理解し、日常生活の中でちょっとした手助けを行う「あいサポーター」を普及し、障がい者が暮らしやすい地域社会づくりを進めるために、障がいがある当事者、外部メッセンジャーおよび職員を講師として派遣しました。

①福祉学習支援およびあいサポート運動の実施状況

	一般・団体		企業・事業所		学校		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
出雲	8 (3)	232 (71)	4 (2)	64 (16)	58 (16)	3,691 (1,029)	70 (21)	3987 (1,116)
平田	5 (1)	147 (8)	1 (1)	46 (46)	18 (6)	483 (129)	24 (8)	676 (183)
佐田	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (1)	69 (23)	3 (1)	69 (23)
多伎	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (1)	72 (25)	3 (1)	72 (25)
湖陵	1 (0)	27 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (1)	170 (59)	4 (1)	197 (59)

大社	3 (0)	165 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (2)	497 (80)	16 (2)	662 (80)
斐川	2 (1)	28 (11)	1 (1)	16 (16)	16 (4)	1,089 (289)	19 (6)	1,133 (316)
合計	19 (5)	599 (90)	6 (4)	126 (78)	114 (31)	6,071 (1,634)	139 (40)	6,796 (1,802)

※地域は実施した機関や団体の所在地域での実績です。

※各地域下段の数字は、福祉教育のうち「あいサポート運動」としての実績です。

② 外部講師紹介件数 29件

(3) 介護の基礎的講座

福祉の現場で働く介護の専門職が、中学生に向けて人の尊厳や高齢者の自立した生活を支えることの大切さや、そうした考え方のもとに実践される福祉の仕事の社会的意義や仕事の魅力を伝えました。

- ・協力福祉施設 24施設
- ・実施校 6校

災害時のボランティア活動の支援（地域福祉課）

1. 災害ボランティアセンターの設置運営

(1) 出雲市災害ボランティアセンター立ち上げ訓練

災害発生時に、被災者ニーズに対し円滑に応える体制づくりや住民の防災意識の向上を図ることを目的に、出雲市及び出雲市総合ボランティアセンターと共同で訓練を行いました。

実施日 令和6年9月1日（日）

会 場 出雲市総合ボランティアセンター

参加者 出雲市災害対策本部、出雲市社会福祉協議会、出雲市総合ボランティアセンター、隊友会

法 人 運 営

民間団体としての主体的な経営判断を行ない、かつ地域に開かれた組織体制を確立し、公共性と民間性をあわせ持つ地域福祉を推進する団体として、住民に信頼される組織の確立を図りました。

信頼にこたえる法人運営（総務課）

経営管理体制の強化と安定的な財務運営及び地域に開かれた組織体制の確立に努めました。

1. 法人運営事業

（1）組織運営

- ・役員会等の開催（評議員会、理事会、監査会、正副会長会）
- ・定款、諸規程の整備
- ・本所・支所との連絡調整

①会議

- ・正副会長会

開催日 令和6年5月28日（火）

令和7年3月 5日（水）

- ・理事会

（第82回理事会）

開催日 令和6年6月6日（木）

議第375号 令和5年度事業報告について

議第376号 令和5年度決算について

議第377号 評議員の辞任に伴う評議員選任・解任委員会への評議員補欠選任候補者の推薦について

議第378号 令和6年度第1回評議員選任・解任委員会の招集について

議第379号 令和6年度社会福祉事業区分資金収支第1回補正予算について

議第380号 第71回評議員会（定時）の招集について

（第83回理事会）

開催日 令和7年3月14日（金）

議第381号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会評議員・理事・監事選任規程の一部改正について

議第382号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会役員等の報酬、費用弁償に関する規則の一部改正について

議第383号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会組織管理規則の一部改正について

- 議第 3 8 4 号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会事務局規則の一部改正について
- 議第 3 8 5 号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会事務処理規程の一部改正について
- 議第 3 8 6 号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会苦情解決に関する規程の一部改正について
- 議第 3 8 7 号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会職員の育児・介護休業等に関する規則の一部改正について
- 議第 3 8 8 号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会就業規則の一部改正について
- 議第 3 8 9 号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会嘱託職員就業規則の一部改正について
- 議第 3 9 0 号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会非常勤職員就業規則の一部改正について
- 議第 3 9 1 号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会給与等に関する規程の一部改正について
- 議第 3 9 2 号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会経理規程の一部改正について
- 議第 3 9 3 号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会評議員会への役員候補者の推薦について
- 議第 3 9 4 号 徴収不能金の欠損処理について
- 議第 3 9 5 号 令和 6 年度社会福祉事業区分資金収支第 2 回補正予算について
- 議第 3 9 6 号 役員等賠償責任保険に係る保険契約の内容について
- 議第 3 9 7 号 令和 7 年度事業計画及び資金収支予算について
- 議第 3 9 8 号 第 7 2 回評議員会（3 月）の招集について

・評議員会

（第 7 1 回評議員会（定時））

開催日 令和 6 年 6 月 2 6 日（水）

議第 2 4 2 号 令和 5 年度事業報告について

議第 2 4 3 号 令和 5 年度決算について

議第 2 4 4 号 令和 6 年度社会福祉事業区分資金収支第 1 回補正予算について

（第 7 2 回評議員会（3 月））

開催日 令和 7 年 3 月 2 5 日（火）

議第 2 4 5 号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会理事の選任について

議第 2 4 6 号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会役員等の報酬、費用弁

償に関する規則の一部改正について

議第247号 徴収不能金の欠損処理について

議第248号 令和6年度社会福祉事業区分資金収支第2回補正予算について

議第249号 令和7年度事業計画及び資金収支予算について

・監査会

開催日 令和6年5月24日（金）

令和5年度事業報告について

令和5年度決算について

・理事・監事・評議員合同協議会

開催日 令和6年11月22日（金）

自主財源の確保について

個別支援に関する事

地域支援に関する事

その他

（2）経営基盤の確立

・会員（一般会員、団体会員、賛助会員）の拡充

・財務運営の安定化（会費、寄附の受納、共同募金運動の促進、積立金の適正管理）

①会費収入等

・会費収入額 35,522,650円

一般会費 32,242,050円

団体会費 670,000円

賛助会費 2,610,600円

・寄附金収入額 12,804,071円

一般寄附金 2,399,618円（52件）

香典返し寄附 9,922,000円（539件）

見舞い返し 43,000円（4件）

郵券・商品券 137,623円（5件）

物品 301,830円（3件）

・共同募金助成（令和5年度募金 B助成） 19,826,394円

（3）経営管理の充実

・会計、税務、財務の適正管理

・人事、労務の適正管理

・個人情報保護の適正対応

・苦情解決体制の充実と適正対応

- ・リスク管理の徹底
- ・健康経営の推進
- ・受託事業等に係る契約の適正管理
- ・テレワークを見据えた情報通信環境整備の設置
- ・BCP（事業継続計画）の策定

①労務管理

- ・衛生委員会

毎月、産業医と労働安全衛生計画で定めた事業計画の執行状況について確認しました。

産業医：塩飽 邦憲氏

- ・健康・メンタルヘルス相談

職員を対象に健康とメンタルヘルスに関する相談を実施しました。（面談、メール）

産業医；塩飽 邦憲氏

②苦情解決の状況

- ・苦情受付件数 3件
- ・苦情の内容 職員の対応に関すること 3件
- ・苦情解決件数 3件

③契約等の取扱

- ・一般競争、指名競争の状況

件 名	令和6年度「社協だよりいずも」印刷
契約方法	指名競争入札
予定価格	2, 5 5 8, 6 0 0 円(税込)
契約金額	2, 1 1 9, 7 0 0 円(税込)
契約の相手方	有限会社福間秀文堂

（４）関係機関との連絡調整

- ・行政機関（出雲市、出雲保健所等）
- ・社会福祉協議会（島根県社会福祉協議会、県内の市町村社会福祉協議会等）
- ・福祉団体
- ・福祉施設等

（５）役職員の研修

①内部研修

- ・新任職員研修

実施日 令和6年4月15日(月)、17日(水)、22日(月)、
6月12日(水)

- 参加者 職員 5 人
- 内 容 会長・常務理事による講義、事務局長による事業説明等
- ・あいサポーター研修
 - 実施日 令和 6 年 6 月 2 1 日（金）
 - 参加者 職員 8 人(あいサポーター研修未受講者)
 - 内 容 地域福祉課あいサポーター研修担当職員による講義・実技
- ・職員全体研修
 - 実施日 令和 6 年 1 2 月 1 8 日(水)、2 0 日(金)、2 3 日(月)
 - 講 師 金築専務理事
 - 内 容 講義「社会保障制度と地域包括ケアについて」
- ・メンタルヘルス研修（各自でオンラインコンテンツを視聴）
 - 実施日 令和 7 年 1 月 2 3 日（木）～2 月 1 3 日（木）
 - 参加者 職員 9 3 人
 - 教 材 厚生労働省:働く人のメンタルヘルスポータルサイト「こころの耳」
ニュースピックス
- ・感染症予防研修(各自でオンラインコンテンツ視聴)
 - 実施日 令和 7 年 2 月 6 日(木)～2 月 2 0 日(木)
 - 参加者 職員 9 1 人
 - 教 材 内閣官房内閣感染症危機管理統括庁オンラインコンテンツ
TBS NEWS DIG

②外部研修

- ・コミュニティソーシャルワーク実践基礎研修
- ・社協職員研修（中堅）
- ・社協職員研修（基礎）
- ・新任職員マナー研修
- ・労務管理研修
- ・社会福祉法人会計実務研修(中級)
- ・メンタルヘルス研修（管理職）
- ・中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会第62期研修会

③自己啓発研修の推進

- ・自己啓発援助制度による援助決定：0 件

広報啓発活動の推進（総務課・地域福祉課）

社協の存在や役割を広く伝え、地域住民の社協に対する理解と共感を広げ、認知度を高める取組を進めました。

1. 出雲市総合社会福祉大会の開催等

(1) 出雲市総合社会福祉大会の開催

開催日 令和6年9月12日(木)

会 場 出雲市民会館

・市社会福祉協議会会長表彰及び感謝 79人、10団体

・講演 講師：山陰中央新報論説委員 岡田 素衣氏

演題：『命をつなぐ出雲～取材で出逢った言葉から～』

(2) しまね県民福祉大会への参加

開催日 令和6年9月28日(土)

会場 くにびきメッセ 国際会議場

参加者 25人

(3) 各種表彰の候補者の推薦

・島根県社会福祉協議会会長表彰・感謝 4人・1団体

・島根県知事感謝 10人・1団体

・島根県各種功労者表彰 2団体

・全国社会福祉協議会会長表彰 1人

・厚生労働大臣表彰 1団体

2. 「社協だよりいずも」の発行

住民へ広く本会の取組を周知し、また福祉情報を提供するために2ヶ月に1回、「社協だよりいずも」を発行し、市内各世帯へ配付しました。

発行月 4月、6月、8月、10月、12月、2月

発行部数 47,000部(1回あたり)

3. 音訳広報・点訳広報発行事業

各種広報の内容を音声で録音した音訳広報と点字版の「社協だよりいずも」をボランティアグループの協力により製作し、希望する視覚障がい者に送付しました。

(1) 音訳広報発行

①音訳広報「広報いずも」

内 容 「広報いずも」第302号～第313号

発行回数 12回

利用者数 延べ431人

作 成 者 音訳ボランティアいずも、音訳グループやまびこの会、
斐川音訳ボランティアトゥインクル

②音訳広報「いずも市議会だより」

内 容 「いずも市議会だより」第76号～第79号

発行回数 4回

利用者数 延べ144人

作成者 音訳ボランティアせせらぎ

④ 音訳広報「社協だよりいずも」

内 容 「社協だよりいずも」第151号～第156号

発行回数 6回

利用者数 延べ217人

作成者 朗読ボランティアひばりのうた

⑤ 音訳図書（プライベートサービス）

図 書 6冊

新聞コラム 通年

利用者数 3人

作成者 音訳ボランティアいずも、音訳グループやまびこの会、
斐川音訳ボランティアトゥインクル、音訳ボランティアせせらぎ、
朗読ボランティアひばりのうた

（2）点訳広報発行

点訳広報「社協だよりいずも」

内 容 「社協だよりいずも」第151号～第156号

発行回数 6回

利用者数 延べ36人

作成者 出雲市アイアイ会

4. ホームページの運営管理

住民へ広く社協活動を周知し、また福祉情報を提供するために、ホームページを運営しました。住民、福祉事業者、ボランティア団体等が情報発信できる場を設け、福祉活動の活性化を図りました。また、SNSでの情報発信はFacebookのみでしたが、幅広い世代へアプローチするため12月にInstagramを開設しました。さらに、より伝わりやすい情報発信をめざし、各種特設サイトを開設しました。

・閲覧数等

ホームページページビュー数 185,834件

Facebook閲覧数 65,165件

Instagram閲覧数 6,612件

・特設サイト

出雲市共同募金委員会

出雲市子ども食堂サイト

いずレポ!出雲で地域活動をはじめたきっかけを聞いてみた

5. 出雲市民余芸大会の開催

開催日 令和7年1月19日（日）

会 場 出雲市民会館 大ホール

中期的な計画の推進（総務課）

1. 地域福祉活動計画推進事業

出雲市と一体的に策定した「第4次出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画」について、出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会を開催し、進捗管理を行いました。

（1）出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会の開催

（第1回）

開催日 令和6年5月30日（木）

出席者 委員14人

会 場 出雲市役所

内 容 ・新委員委嘱及び委員長・副委員長の選出
・福祉総合相談支援事業の取組について
・市民アンケート調査実施手法について

（第2回）

開催日 令和6年11月15日（金）

出席者 委員12人

会 場 出雲市役所

内 容 ・令和6年度市民アンケート調査結果（中間報告）について
・第4次出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗管理について

（第3回）

開催日 令和7年2月10日（月）

出席者 委員11人

会 場 出雲市役所

内 容 ・出雲市福祉総合相談支援事業の取組状況について
・市民アンケート調査結果に係る年代別傾向について
・市民アンケート調査結果に係る各施策の評価について
・出雲市再犯防止推進計画の進捗について

災害見舞への取組（総務課）

1. 災害見舞金事業

火災や風水害等自然災害で被災された世帯へ見舞金をおくりました。

- ・見舞金（1世帯10,000円） 9世帯
- ・死亡見舞金（1人10,000円） 3人

会館管理（総務課）

1. 会館管理事業

各センターの適正な管理運営に努めました。

（1）出雲市社会福祉センター管理運営事業

- ・開館日数 337日
- ・利用回数 1,248回
- ・利用者数 9,485人

（2）多伎地域福祉センター管理運営事業

- ・開館日数 275日
- ・利用回数 773回
- ・利用者数 12,308人

（3）平田福祉館管理運営事業

- ・開館日数 250日
- ・利用回数 441回
- ・利用者数 2,071人

職員派遣（総務課）

1. 災害ボランティアセンターへの派遣

（1）能登半島地震

派遣期間	派遣先	人数
令和6年4月28日（日）～5月4日（土）	能登町	1
令和6年7月1日（月）～7日（日）	能登町	1
令和6年9月11日（水）～17日（火）	輪島市	1